

第 14 期 A コース（南オーストラリア州） 出発レポート

□ 留学に向けて出発

令和 8 年 1 月 23 日（金）、第 14 期 A コース研修生のうちオーストラリア南オーストラリア州アデレードに留学する研修生が出発しました。たくさんの保護者や友達から温かい見送りを受け、期待と不安を胸に留学への第一歩を踏み出しました。



<出発式（羽田空港）の様子>

□ シドニー空港到着

南オーストラリア州組は、シドニー空港での乗継があります。シドニー空港での入国審査では、研修生はやや緊張した様子で電子での入国システムや対面での入国審査を行い、無事に入国を果たしました。「心配よりも期待の方が大きい」「まだ、今一実感が湧かない」と、一人一人の言葉は違いますが、これから始まる留学生活への期待を伺うことができました。

その後、シドニー空港で仲間との談笑を楽しみながら昼食をとり、国際線ターミナルから国内線ターミナルに空港内のバスで移動し、国内線の飛行機に乗り込みました。

□ アデレード空港到着

アデレード空港では、南オーストラリア教育省の方が出迎えてくださり、歓迎の言葉をいただきました。空港の外に出てみると、雲一つない青空と強い日差しが研修生を迎えてくれました。冬であった日本から、夏のオーストラリアに移動し、気温差を強く感じました。午後 5 時過ぎにも関わらず、日中と同じくらいの明るさを体感し、研修生は「ついに、オーストラリアに来た」と実感している様子でした。



<アデレード空港到着の様子>

□ 宿舎到着

バスで宿舎兼オリエンテーション会場である The Monastery に移動し、ビュッフェ形式の美味しい食事を楽しみながら、長旅の疲れを癒しました。

食後は、オリエンテーションとして、教育省の方から施設の利用方法や翌日の研修内容について説明を聞いた後、研修生は各自部屋に戻り、休息を取りました。



<食事の様子>



<オリエンテーションの様子>



<宿舎から見える夕日 (午後8時) >

□ 現地到着オリエンテーション 第1日

翌日は、一日を通して研修が行われました。午前は、The Monastery にて教育省のスタッフによるオリエンテーションが行われました。南オーストラリア州での学校生活や日本との習慣の違いなどについて、ペアワークや演習を通じて学びました。やや緊張した表情で、英語での説明をよく聞き、積極的にペアワーク等に取り組む様子が見られました。また、事前研修中から取り組んできたゼミナール研究を継続して進めていくためのリサーチの手法についても学習しました。



<オリエンテーションの様子>

午後は、バスでアデレードの中心地に移動し、市内散策を行いました。美術館や植物園などの見学を通じ、オーストラリアの文化や自然を肌で感じるとともに、これから生活を始める自分たちの街を知る貴重な経験となりました。



<アデレード市街地での実地研修の様子>

□ 現地到着オリエンテーション 第2日

The Monastery で過ごす最終日の午前は、オリエンテーションとして留学生活における規則や緊急連絡の方法、トラブルが起こった時の対処方法などを学びました。学校生活やホストファミリーとの生活に直結する大切な内容について、メモを取りながら真剣に話を聞く姿や些細な疑問についても質問を行い、解決しようとする姿から、自分の力で新しい生活をスタートさせようとする強い意気込みを感じました。

その後、研修のまとめとして、研修生一人一人が英語で「オーストラリア滞在中に達成したいこと」をテーマに「1分間スピーチ」を行いました。「オーストラリアで世界中に人と出会ってたくさんの文化を知り、自分の考えを広げたい。」「日本とオーストラリア、世界中の人とをつなぐ架け橋のような存在になりたい。」「失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしたい。」など、一人一人の想いを英語で発表しました。次世代リーダー育成道場生として、それぞれが確かな目標をもってこの留学生生活をスタートする姿がとても頼もしく思えました。



< 1分間スピーチの様子 >



< オリエンテーション会場での集合写真 >

□ ホストファミリーとの対面

午後、いよいよホストファミリーとの対面の時が訪れました。待っている時間は少し緊張した表情を見せていましたが、教育省の方に自分の名前が呼ばれると仲間同士で励まし合い、ホストファミリーとの対面を果たしました。ようやく会えたホストファミリーと歓声を上げて喜び合いながら、どの研修生もこの瞬間から始まるホームステイの大切なスタートを笑顔で迎えることができました。ホストマザーやホストファザーから、「荷物を運んであげるから、貸して。」「車をもって来るから待っていてね。」といった声を掛けられ、安心した表情のまま、家族の一員として迎え入れられ、オリエンテーション会場を後にしていきました。



<ホストファミリーに対面したときの写真>

研修生は、これから令和8年11月下旬までの約10か月間、ホームステイをしながら現地校に通い、様々な力を身に付けていきます。今まで育ってきた環境と温かく見守ってくれた家族から離れ、言葉も文化も習慣も違う異国の地で、新たな発見や体験をすることと思います。同時に、様々な戸惑いや困難に直面することもあると思います。その戸惑いや困難な局面で、自分の考えや感覚と異なることをどのように受け止め、向き合い、対応していくのか考えていくことが留学です。

次世代リーダー育成道場に入校したときの気持ちと、留学に対しての熱い想いを忘れずに、積極的にコミュニケーションを取りながら自分を磨いていってほしいと切に願います。